



# ロータリー：変化をもたらす

## ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

RI会長 イアンH. S. ライズリー

第 2319 号 2017 年 12 月 5 日

No. 20

例会日：毎週火曜日 12:30~13:30  
例会場：岐阜都ホテル TEL.295-3100  
事務所：岐阜商工会議所 TEL.264-9235

会長：渡部 勝裕 会長エレクト：渡辺 敏昭  
副会長：豊田 雅孝 幹事：廣川 重幸  
会報委員長：平井 繁利

### <四つのテスト>

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

## W E E K L Y B U L L E T I N

### 本日のプログラム

12月5日(火) 第 2319 例会  
第1例会行事  
R情報上半期報告  
年次総会  
担当 ロータリー情報・規約(クラブ史)

### 次例会の予定

12月12日(火) 第 2320 例会  
クラブフォーラム  
卓話：杉山 行生 会員  
担当 S A A

## < 前 回 の 記 録 >

### 会 長 挨 拶

会長 渡部 勝裕



皆さん、こんにちは。今日はドリームズ・カム・トゥルーの曲を流していますが、ボーカルの吉田美和は何と52才であるのパワー。ご主人は19才年下のバンドマンです。もっと驚くのは隣でベースを弾いているリーダーの中村正人は59才で、奥様は29才年下の30才の美人妻です。やはりエネルギーに生きてお金があればうらやましい生活が待っている訳で見習いたいと思っております。

我が社、大東株式会社は毎週月曜日の朝礼で全社員が順番に自分の事か、皆の為に成る事を大きな声でスピーチしています。私は月初めの朝礼でスピーチし、特に6月の年度初日では、必ずその年のスローガンを発表します。今期は連合艦隊司令長官、山本五十六の名言です。「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、誉めてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず。」基本は相手への尊重です。

このスローガンを何かにつけて手を変え、品を変え、1年間言い続けます。管理職には、「スローガンを実行出来てない人は、部下からどう思われていると思う？」と問いかけたり、社員には「上司がスローガンを実行出来てない場合、どうすれば良いと思う？」等々。

相手への尊重とは、まず自分が威張らない事。肩書で人は動かない。人がやる気をなくす要因No.1が「支配」です。『understand(理解する)』とは『under(下に)』『stand(立つ)』。下から目線です。中高年層の意識改革の為にスローガンです。私は新入社員を「さん付け」で呼びます。英語にはミスターを付けるか、愛称で呼ぶしか男性にはありません。社長も部長も課長も一般社員も役割の違いであり、役職や年を取ったら人格的に偉い訳では無いと言っています。

若い人を育てられない組織は、いずれ消滅します。田山ガバナーの『未来を創造しよう~10年後のロータリーは~』の活動方針は的確に時代を読んだ方針だと思う次第です。

### お 客 様

川口 豊 様 (中部名古屋みらいRC)

### 出 席 報 告

委員長 安田 達雄

会員総数 51名 / 出席免除者 10名 / 本日の出席者 28名 / 本日の出席率 57.14%

渡部勝裕会長、廣川重幸幹事 川口様、卓話どうぞ宜しくお願い致します。  
土屋実記朗君、宇佐見眞一君 本日は卓話に川口豊様をお迎え致しました。遠路、名古屋よりお越しいただき、誠に有難うございます。ロータリーの友情に感謝。

## 卓 話

中部名古屋みらいRC 川口 豊 様

## 『私が思うこと — 中部名古屋みらいロータリークラブとともに —』



こんにちは。私は第2760地区中部名古屋みらいRC所属の川口豊と申します。今日は  
大恩ある岐阜卓東クラブのこのような栄えある場で、このような機会を与えていただきまし  
た事、心より感謝申し上げますとともに大変に大きな責任のある事と身の引き締まる思い  
でおります。高いところからではございますが、ロータリーにつきまして私が思う事をご  
報告させていただきます。

私は1977～78年度ロータリー財団国際親善奨学生として、第2630地区美濃加茂RC  
の推薦をいただき、当時まだ西ドイツであったケルン音楽大学に留学させていただきました。  
受け入れロータリーは西ドイツ、ケルン西RCでした。音楽の本場ドイツで目一杯音  
楽を学ぶ事ができました。それは素晴らしい体験でした。

ドイツではロータリーの存在が社会全体で広く認識され、その役割、存在価値などは一般の市民の人たちから  
も高く評価されていました。私がロータリーの奨学生であるという事でドイツ社会のあらゆる場において優遇さ  
れ、ドイツでの勉学、研究、生活にどれほど大きな恩恵に浴したか、はかり知れません。いつも、暖かいロータ  
リーの精神に包まれていました。この時の体験こそが私の生涯を作る源となりました。心から感謝しておりま  
す。

留学を終えて帰国してからは、微力ではあっても何か恩返しをしたいと考え続けていました。1981年に第  
2630地区におきまして学友会を立ち上げ、できる限りロータリーの活動に参加させていただきました。でもそ  
れは恩返しにならないばかりか、大きな恵みをロータリーから与えていただくばかりでした。さらに大きくロー  
タリーの精神に包容されてまいりました。

国際ロータリー第2630地区学友会では、2005年以来、音楽の勉強を目的として留学させていただきました学  
友を中心に学友会が総力をあげてポリオ撲滅のためのチャリティコンサートを開催してまいりました。  
2016年1月28日には第6回ポリオ撲滅チャリティコンサートを名古屋電気文化会館ザ・コンサートホール  
で開催いたしました。ドイツ、イタリア、ポーランドなどに音楽留学をさせていただきました10名の学友が、  
ロータリーへの恩返しができる事に大いなる喜び感じて、全霊を込めて演奏いたしました。入場料の売り上げか  
ら100万円をポリオ撲滅のためにロータリー財団に寄付させていただきました。これまでの寄付額は合計で600  
万円を超えております。いよいよこの地球上からポリオが消えようとしている事に大きな喜びを感じています。

2011年2月、ポリオ撲滅のための活動に参加させていただき、インドに行って参りました。私もこの手でイ  
ンドの小さな子供たちにポリオのワクチンを投与いたしました。この時、改めてロータリーはなんて素晴らしい  
事をしているのかという事を実感いたしました。まさに身体が震えるような思いをいたしました。

さて、私自身はロータリアンになるにはまだまだ未熟と思いつつも、2009年5月に、中部名古屋みらいRC  
を新世代RCとして立ち上げました。斎藤直美パストガバナー・RI理事（第2760地区 豊田RC）、篠田靖  
之パストガバナー（第2630地区 岐阜西RC）、深谷友尋アシスタントガバナー（名古屋みなとRC）の皆様  
の暖かいご指導と力強いご支援を賜り、船出をする事ができました。それまではロータリー財団奨学生であり、財  
団の学友であり、あくまでロータリーの恩恵を受ける立場でした。そんな私でしたが、認証状伝達式の場で認証  
状の伝達を受けた時、その重さはまさに潰されるのではないかと思うほどでした。私のようなものでさえロータ  
リアンになって、世界に人材を育てる奉仕ができる立場に立ったという事に大きな感動を覚えました。やっと恩  
返しをする事ができる道を見つける事ができたと思えました。素晴らしい発見でした。その時の事は鮮明に私の  
中に刻み込まれています。これまで導いて下さいましたロータリーの皆様にさらなる感謝の気持ちを申しあげたい  
と存じます。

中部名古屋みらいRCは、全員がロータリーの恩恵を受け、ロータリーの奉仕の精神によって、これまで育て  
ていただいたものばかりです。海外での体験も豊富に積んでおります。また、ロータリーの支援を受けて、高度  
な専門的知識、技術を身につけております。そしてロータリーに対して感謝の気持ちを常に持ち、何か恩返し  
ができる事に喜びを感じております。このRCができて7年がたちます。最近特にロータリアンとして大きな責任

を負っているという事を感じております。実は以前は、ロータリーは若い人に奨学金を与えて育てる事はしても、奨学生の役割を終えたその後の事にあまり関心を持っておられないのではないかと疑問に思う事がありました。しかしそれは私たち自らがロータリーに対して財団奨学生であった事の責務を発信しなければならなかった事だったと気が付きました。

ロータリーは“I serve”です。私たち“We”は個々“I”がそれぞれに能力を発揮し、努力して“serve”しなければならなかったのです。私たちは一人ひとりそのような責務を負っています。中部名古屋みらいRCとして奉仕に取り組んだとしても、一人ひとりの会員がそれぞれに培ってきた特性を活かし奉仕に取り組む事になります。これまで私ども中部名古屋みらいRCはクラブとして何が出来るか暗中模索を続け、もがいてまいりました。ロータリアンとしてのこれまでの7年間はこのような気付きの道であったと振り返る事ができるように思っております。本年はロータリー財団にとって記念すべき年。ロータリーとロータリー財団のますますの発展のためには私共のようなRCが本来の使命を認識し、前進する事が重要な事と思っております。どうか皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご清聴下さいました事、感謝申し上げます。

## 発言席 vol.7

不破 達生 会員

岐阜東RCに入会させていただき、早いもので5年半が経ちました。その間、多くの方々との出会いがあり、大変感謝いたしております。

去る11月12日、地元地域の防災訓練を行いました。「参加」ではありません。私は地元自治連合会で防災対策委員長を仰せ付かっており、地域防災の一助として日々無い知恵を絞っております。その中の主たるものとして、2年に一度の防災訓練がありますが、企画運営一切を任されています。消防団を30年もやっていると「防災の事はあれに任せろ」と言ってくれるわけです。自分なりのボランティア活動です。ロータリーでは職業奉仕という言葉をよく聞きます。それぞれのお立場でそれぞれのお仕事をし、ロータリーに会費を納める。それがポリオ撲滅などの社会貢献に繋がっていると考えれば、素晴らしいことだと思います。ロータリーのバッチに誇りを持ちたいと思います。



絵：渡辺 敏昭

(編集責任者 平井 繁利)